

10月 22日(水) おいしなつうしん

ぎゅうにゅう  
かきあげてんどん  
こまつなともやしのおひたし  
あすかじる

★きのうのこたえ★ ② エッフェル<sup>とう</sup>塔

エッフェル<sup>とう</sup>塔はフランスの首都<sup>しゅと</sup>パリにある名所<sup>めいしよ</sup>で、パリ7区<sup>く</sup>にある塔<sup>とう</sup>です。

◎今日のクイズ◎

「飛鳥<sup>あすかじる</sup>汁」は、奈良<sup>なら</sup>県<sup>けん</sup>の郷土<sup>きょうど</sup>料理<sup>りょうり</sup>です。一見<sup>いっけん</sup>、ただのみそ汁<sup>しる</sup>のように見えますが、牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>を使う<sup>つか</sup>のが特徴<sup>とくちよう</sup>です。牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>がまろやかさと甘み<sup>あま</sup>を引き出し、いつもとは一味<sup>ひ</sup>違い<sup>だ</sup>、おいしい味<sup>あじ</sup>に仕上がります。

給食<sup>きゅうしょく</sup>では、牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>のかわりに豆乳<sup>とうにゅう</sup>を使<sup>つか</sup>いました。

牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>は栄養<sup>えいよう</sup>のある飲み物<sup>の</sup>なので、世界<sup>せかい</sup>の国々<sup>くに</sup>でとても古くから飲<sup>の</sup>まれていました。日本<sup>にほん</sup>で牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>を飲<sup>の</sup>んでいたのは飛鳥<sup>あすか</sup>時代<sup>じだい</sup>なので、牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>を使<sup>つか</sup>った汁<sup>しる</sup>を「飛鳥<sup>あすか</sup>汁」<sup>あすかじる</sup>というようになりました。

では、クイズです。飛鳥<sup>あすか</sup>時代<sup>じだい</sup>に牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>はどのように扱<sup>あつか</sup>われていたのでしょうか？

① デザート ② 薬<sup>くすり</sup> ③ 子どもの飲み物<sup>こ の もの</sup>

ヒント：当時<sup>とうじ</sup>、牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>は高価<sup>こうか</sup>なもので、貴族<sup>きそく</sup>しか飲<sup>の</sup>めませんでした。

正解<sup>せいかい</sup>のクラス

1の1、1の2、2の1、  
2の2、3の2、6の1、  
6の2

こまつなともやしの  
おひたし

かきあげてんどん  
(ごはん+かきあげ)

あすかじる

大わん